

朝日遺跡

朝日遺跡は、弥生時代（紀元前6世紀～紀元後3世紀）をとおして営まれた東海地方最大の集落でした。さまざまなものづくりがおこなわれ、生産と流通の拠点として、弥生時代の東西文化を結ぶ拠点集落として栄えていました。



上空から見た朝日遺跡周辺（2007年撮影）



ごあいさつ

朝日遺跡は、愛知県清須市、名古屋市西区にまたがる弥生時代を代表する巨大集落遺跡です。昭和初期から重要な遺跡として注目され、1970年代以降は、大規模な発掘調査によって弥生時代研究に数々の成果をもたらしてきました。朝日遺跡の初期の貝塚である貝殻山貝塚は国史跡に、主要な出土品2,028点は国の重要文化財に指定されています。

あいち朝日遺跡ミュージアムは、国の重要文化財をはじめとする膨大な出土品を収蔵・公開する「本館」、「史跡貝殻山貝塚」及びそのガイダンス施設である「史跡貝殻山貝塚交流館」、復元建物や水田で弥生時代の生活を体験・体感する「体験弥生ムラ」などの諸施設で構成されています。本ミュージアムをとおして、弥生時代や地域の歴史について関心と興味を深めていただければ幸いです。

開館にあたり、朝日遺跡の発掘調査と保存にご尽力いただきました方々並びに開館に向けて御支援、御協力いただきましたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

職員一同、親しみをもって活用していただけるミュージアムを目指して取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

あいち朝日遺跡ミュージアム 館長

例言

- 本書は、あいち朝日遺跡ミュージアムの施設、展示を紹介した図録である。
- 出土品のうち重要文化財には、「◎」を付している。
- とくに記載のない資料は、本ミュージアム所蔵品である。
- 本書掲載資料には、一部展示されていないものを含む。
- 遺構等写真資料の一部は、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターから提供されたものである。
- 本書の執筆・編集は原田幹が行い、田中恵美が補佐した。

目次

ごあいさつ	1
目次	2
敷地案内	4
本館案内	6
施設概要	8
クロスロードビジョン	10
朝日遺跡ロケーションジオラマ	12
重要文化財朝日遺跡出土品	24
弥生土器クロニクル	26
道具の造形	30
装飾の造形	34
祈りの造形	36
金属の造形	38
キッズ考古ラボ	40
史跡貝殻山貝塚	44
環濠と貝層	46
復元建物	47
体験弥生ムラ	48
朝日遺跡発掘マップ	50
集落の変遷	54
重要文化財朝日遺跡出土品	56
観覧案内	58
展示指導・協力者、協力機関	60

施設案内

展示案内

屋外展示

資料



施設案内

Facilities introduction